

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス宙		公表日		2025年 3月 27日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・天気が良い時は、庭や駐車場を活用し、運動スペースを設けている ・広いスペースを確保しながらも、構造化されている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	・小集団活動を取り入れて、職員配置を工夫している。	・適切であるが、休暇を取りづらい状況である ・曜日や時間帯によっては少ないと感じる(個別対応の児童が多いなど)	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	・構造化をし、子どもたちに分かりやすい環境づくりを心掛けている ・状況に応じ、できる限りのことをしている	・古い家の作りのためバリアフリー化は難しく感じる ・車いす使用者に対する配慮が必要であるが、現施設では困難である	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	2	・毎日消毒・掃除を行い、清潔な環境を維持できるように努めている	・冬は寒く感じる ・冬場は暖房をつけても寒いと感じる。子どもたちと上着を着たまま活動している時がある	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・児童の特性に応じて個別の部屋を用意したり、リラックスルームの活動を入れている ・パーティションで区切ることで視覚的には個別の空間を確保できている ・可動式の衝立等で対応している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	・長期休みの行事では反省報告書を書き、反省点や改善点を記録に残し、業務改善に努めている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・年に1回評価を行っており、改善策を職員で話し合いをしている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・療育後、話し合いの時間を設けている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	・外部評価が行われているか分からない ・行なっているか分からない		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・放課後等デイサービスの協議会やZOOMでの研修会に参加している		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・職員同士が相談して作成されている ・同法人のあづま児童発達支援センターと放課後等デイサービス宙・のぞみと話し合いを行なって作成している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	・アフターミーティングや日々の様子の記録に基づいて担当者会議を行なっている		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・計画作成後は必ず職員全員で確認をしている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・日々の支援の方法・対応についてその都度話し合って支援に繋げている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	・インフォーマルなアセスメントは療育中の対面課題等で行なっている	・標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントは難しいが、保護者から検査結果を頂いて確認をしている ・行動観察シートの見直しをし、今後も活用していく	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・放課後等デイサービスガイドラインのねらいや支援内容を踏まえながら設定している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・個別の活動は担当職員が主となり、活動を設定しているが、小集団活動は職員間で検討して行なっている。 ・職員同士で話し合い、毎日のスケジュールを決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・季節、天候、気温等により外活動を取り入れたりし、行事を行なっている	・固定化しないように心掛けているが、特性によっては慣れ親しんだ活動の方が安心できる児童もいるため、難しい
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・毎日、その日の利用児の状況に応じた計画を職員全員で協議している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・毎回必ず行なっている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・毎日、アフターミーティングを行い、その日に気付いた点を共有している。 ・支援終了後に振り返りを行い、話し合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・「ほのぼの」に記録を行なっている ・支援の振り返りをもとに、記録を取り、職員全体に共有できるようにしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・6か月以内にモニタリングを行い、計画の見直しを行なっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	・複数組み合わせ支援を行うよう心掛けている。	
関係機関や保護者と	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・自己決定が難しい児童に対しては絵カードを用いて選択してもらうなど、自己選択の機会を設けている ・利用児に応じて、計画の大部分や一部を自分で立案させたり、選択肢を設けたりしている	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・関係機関との連絡調整を密に行ったり、相談支援専門員や児童の主担当のスタッフ等、子どもの状況を理解したものが参画したりするように工夫している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・定期的に学校訪問をしている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	・学校訪問を中心に、必要に応じて行なっている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	・フェイスシートや状況報告書などを通して情報を共有している。 ・聞き取りや書面での情報共有と相互理解に努めている。	・昨年度は該当なし。今年度は実施する予定
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	・今年度は学校を卒業し、障害福祉サービス事業所等へ移行する児童がいないため該当なし	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	・あづま児童発達支援センターで研修の機会がある	

こ の 連 携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	・学童との交流はないが、放課後等デイサービス宙・のぞみとの合同行事を行い、他事業所の児童と関わる機会を設けている	・感染症対策を十分に行える状況であれば可能であると思われる ・長期休みなど、交流する機会を作りたい ・個人情報等の問題があり、実施が難しい(検討はしている)
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	・法人として児童発達支援センターが参加し、内容を共有している(こども部会)	・事業所としては参加していないため、今後参加できるように検討していく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・お迎え時に今日の様子などを話している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	・今年度は小学校高学年以上の保護者に向けて茶話会を実施した。今後も継続して行なっていきたい	・ペアレントトレーニングなどの実施はできていない ・保護者からの要望が多い為、検討していくべきであると感じる。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・見やすく書面にして一人一人に説明している	
保 護 者 へ の 説 明 等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・児童や家族の意向を確認しながら作成している。 ・面談をする機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	・計画の説明を必ず行なっている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・必要に応じて面談を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	0	・茶話会を実施した	・始めたばかりだが、今後も続けていけるように計画していきたい ・一部を対象とした保護者会を開催している。今後はすべての保護者を対象として取り組んでいく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・終礼等で職員で共有し、今後の解決策を話し合うようにしている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・インスタで行事の様子や日々の活動について発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・定期的に全職員で個人情報の取り扱いについて再確認をしている ・十分留意している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・児童の特性に合わせて、絵カードやイラスト等のコミュニケーションツールを用いて対応している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	・利用者の個人情報を保護するという観点から、地域に開かれた事情運営を行うのは難しい	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・毎月1回、火災・地震・不審者・水害などテーマを変えて、定期的に避難訓練を行なっている	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・災害に備えた備品の準備やマニュアルなどを作成している。 ・非常災害の発生時における職員の出勤方法や事業所内にある災害用備品等の確認をしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	・保護者からの聞き取り等、情報交換をしている	

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前にアレルギーの有無について確認を行っている</li> <li>・手作りおやつ週間を行う際には、事前に使用する食品のアレルギー表示を確認し、保護者に使用してよいかの確認を必ず行なっている</li> <li>・エピペンの使用方法等、緊急時の対応について保護者に確認を行なっている</li> </ul>	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全計画を作成し、内容を確認しながら支援を行っている。</li> </ul>	・分からない
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その都度、取組内容について家族等へ周知している</li> </ul>	・分からない
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハット報告書にその都度原因や改善策を記入している</li> </ul>	・ヒヤリハットの提出が少ない。少しのことでも共有し検討できる体制を作りたい
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修を行っている。</li> <li>・虐待防止研修を行い、理解を深め、適切な対応ができるようにしている。</li> </ul>	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束等の安全確保に関してどのように対応していくか計画等で必ず説明を行なっている</li> </ul>	